

韓国でランピースキン病が確認！

今一度、発生予防を徹底しましょう！

韓国で、ランピースキン病の発生が継続しています。
10月6日には、新たに慶尚南道で発生が確認されました。
国内においても発生リスクが高まっています。

韓国におけるランピースキン病の発生状況

(2026年10月13日時点)

江原特別自治道

最新発生日：2026年9月15日

発生件数：1件

※ 2026年における初発日：9月15日

忠清南道

最新発生日：2026年10月8日

発生件数：29件

※ 2026年における初発日：8月7日

全北特別自治道

最新発生日：2026年10月7日

発生件数：20件

※ 2026年における初発日：7月10日

全羅南道

最新発生日：2026年10月8日

発生件数：34件

※ 2026年における初発日：7月30日

済州特別自治道

最新発生日：2026年9月12日

発生件数：6件

※ 2026年における初発日：9月7日

発生状況

	発生件数	殺処分 対象頭数※
2023年	107件	6,455頭
2024年	24件	304頭
2025年	-	-
2026年	97件	-

■ : 2026年に発生が確認された行政区画
■ : 2024年が最終発生年(2025年以降、発生なし)
■ : 2023年が最終発生年(2024年以降、発生なし)

慶尚北道

最新発生日：2026年10月12日

発生件数：4件

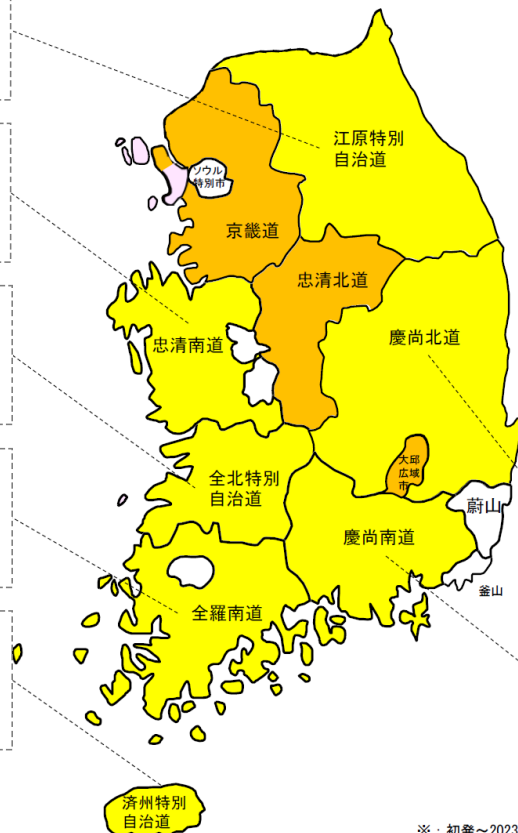
※ 2026年における初発日：9月26日

慶尚南道

最新発生日：2026年10月10日

発生件数：3件

※ 2026年における初発日：10月6日



農林水産省動物衛生課

出典：韓国当局公表資料等を基に作成

※：初発～2023年11月12日：発生農場単位で殺処分
2023年11月13日～2024年11月24日：感染牛のみ殺処分
2024年11月25日～：感染牛のみ隔離、一定期間を経て陰性が確認されれば、殺処分免除

農家の皆様へ 発生予防の徹底をお願いします！

- ☐ 飼養衛生管理基準の徹底をしましょう。
- ☐ 飼養する牛の健康観察を行い、異常を感じた際は、早期に家畜保健衛生所に連絡し、診療獣医師や人工授精師などにも情報を共有しましょう。
- ☐ 殺虫剤の散布とともに、粘着シートなども活用して感染源となる害虫（蚊、サシバエ、ヌカカ、マダニ等）を駆除しましょう。
- ☐ 衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に飼養する器具や畜舎等の消毒を行いましょう。



ランピースキン病

MAFF
農林水産省

Point

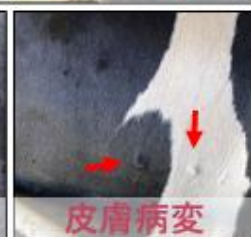
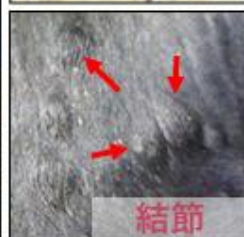
ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、サシバエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈します。本病は死亡率は高くなく、自然治癒しますが、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！



ランピースキン病の侵入防止対策

01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤、粘着シート、
IGR剤等も活用。



山梨県東部家畜保健衛生所

電話：055-262-3166 / FAX：055-262-3108

夜間の連絡先：090-5535-8005

土日・休日の連絡先：090-5535-8005 090-5544-7868